

生浜地域誌

第50号

19.9.30

発行
NPO法人ちば・生浜歴史調査会
電話
080-5387-2592

ら11時30分

【内容】…浜野の浜御蔵と海岸防備について

【会場】…旧生浜町役場庁舎

【参加費】…無料。事前申し込み必要。

【講師】…本会会員・今井公子

歴史講座①

「房総半島における弥生文化」

一般的に稲作を代表とする農耕が開始された弥生時代において房総半島はどのような様子だったのか。また、稲作だけでは語れない房総半島の弥生時代について、最新の研究成果を交えてのお話です。

【日時】…10月26日(金) 9時30分から

11時30分

【参加費】…無料。事前申し込み必要。

【講師】…千葉市埋蔵文化財

調査センター・小林嵩先生

申し込みについて

次の項目を明記して「〒270-0101 ちばお電話」でお申し込みください。

…申し込み項目…

④ 歴史散歩「浜御蔵散歩」

〒切 11/7

⑧ 歴史講座「浜野の浜御蔵」

〒切 10/5

⑨ 歴史講座「房総半島における弥生文化」

〒切 10/19

⑩⑪⑫のいずれかとお名前と電話番号・住所をお知らせください。

電話番号、火・木・土9時から16時の間。

043-265-8816です。

☆☆☆

その昔のこの場所の事

生浜高校の生徒さんが通学路の清掃をするという。その通学路の浜野の土地にはいろいろな歴史がある。そこで、それを紹介してくれと問い合わせがあった。

自分たちが普段何気なく歩いているこの土地は、その昔はどんなところだったのだろうか？という事を少しでも知って歩くのと、何も知らずに路地を曲がるのでは愛着が違ってくるだろう。早速本会会員の今井公子さんが高校に向いてお話をした。

生浜高校のすぐ隣に江戸時代の御蔵があった。浜御蔵（はまおくら）と云って江戸に荷を積み出す港もそばにあった。生実藩の領地であったこの地にそういう歴史があったこととお話した。

現在住宅街になっているゆるいカーブの道はその浜御蔵の土手に沿ったカーブである事も判る。

古図（江戸時代の手書きの民家を書き記した地図）

今年の歴史散歩は浜御蔵です。

歴史散歩「浜野・北町を歩く」

幕末の弘化2年「1845」、生実藩は浜御蔵を海岸防備の陣地としました。その頃の地域村々の動きを10/12の講座で解説します。それら講座内容を踏まえ実際に現地を歩いてみましょう。見学地は浜野北町が中心となります。

【日時】…11月15日(金) 9時に

【場所】…本行寺 集合。

徒歩で移動、見学後12時解散予定。(長袖シャツ、長ズボン 運動靴、帽子を着用。水筒持参。)

【参加費】…無料。事前申し込み必要。

【講師】…本会会員・今井公子

歴史講座②

「浜野の浜御蔵と海岸防備」

【日時】…10月12日(土) 9時30分

はまおくら

と古文書（江戸時代に何をどれだけいつ送ったかの記録）で照合される。

上空からの写真でも、自分が歩いてみてもそう言われればそれを実感できるのである。「まさにロマンですね」と生浜高校の石橋先生は興奮する。生徒諸君はこの話を想いながら通学路のごみ拾いをしてくれている。

＝＝＝いい話である＝＝＝

その昔の この場所の事

「ちはら台」という新しい街が造られた。千葉と市原の境なので「千原」という命名。

「生浜地区」というのは江戸時代からの村々の集合体で明治・大正・昭和の時代に行行政区分の経過の中で、生実村・浜野村の合体として「生浜（おいはま）」が生まれた。

そして、造成された「ちはら台」のそばには「おゆみ野」という町名もつけられている。「生実」は読みにくいので「おゆみ」そして広い野原をイメージしての命名かとも思われる。

「昔から・・・」という常套句・決まり文句はどれくらい前のことを指すのか折々の事情によりその時間の長さは定まらないもの・・・。

ここ「ちはら台」には、造成される前から《昔から・・・》千葉県農業センターが在る。充分な広さと、充分な自然の残る広い敷地で、その名の

通り農業に関する様々な試験や情報を集める機関として実績も上げてきた県の有名な施設である。

この原野には《昔から...》先住していた村があり、その後《最近...》に造成され区画整理された便利な街が計画的に誕生したわけである。

我々NPO法人ちば・生浜歴史調査会は、その昔のこの場所のことを古文書の解読で一冊にまとめた、そしてこの土地の生活ぶりの一面が見えてきた。

この一冊「椎名上郷・鶴田家文書」を、私は農業センターに寄贈しよう持参したところ、断られました。「そのような寄贈はお受けしないことになっていますので申し訳ございませんが」と、総務課の役職付きの方はおっしゃる。私はそれ以上の質問はしないで帰ってきた。その理由や事情は聞くまでもないし、聞きたくもなくなったからだ。説明のために広げた本や挨拶状をそそくさとしてしまい込んで、「大変失礼しました」と言い残した。

充分な自然と充分な歴史のあるこの土地で、近代的な農業研究を重ねている千葉県農業センターなのだろうか、その立ち位置を無視しているのではないだろうか。行政上や社会的な名声としての立ち位置は確保しているのだろうか自分たちがどんな場所に居座っているのか、その立ち位置を知ろうとしない態度である。

センターとしての用地があるからと最近越して

地域の過去現在未来を結ぶ活動を通し、豊かな毎日を過ごしましょう！！

めじろ、ほうじろ追い出しおゆみ野はでき

…昭和56年ころより住宅公団が鎌取駅から大百池までの有吉、南生実、椎名崎、大金沢、鎌取地区を含む広大な地域に「おゆみ野」を宅造しました。そのため、ここに棲んでいた目白、ほうじろ等の野鳥や、りす、蛇などの小動物は追い出され、貝塚や泉谷（やつ）という歴史的遺産も損なわれるようになりました。

しかし、そこには未来に向かって新しい緑を、憩いを、遊びを盛り込んだ街を創ろうと公団では懸命に努力をしています。「生浜を知ろう」平成4年発行 より転載

きた移住者がこの土地の背景や事情、歴史的なことなんか関係ないのだ！ と云わんばかりの態度ではないのか。

＝＝＝寂しく思った出来事である。＝＝＝

（本会理事長 白井孝）

台風15号の爪痕

役場庁舎（築87年）は屋根瓦が一部損壊30枚程度かな。雨が吹き込み館内に数か所水たまりが出来ましたが窓ガラスが1枚も割れませんでした。よく頑張ったネと声をかけました。被災された皆様にはお見舞い申し上げます。☆☆☆☆